

九電グループ全体で、地域・社会の課題解決につながる イノベーションを推進し、快適な社会づくりを目指します

新たな事業・サービスを生み出すためのプロジェクト 「KYUDEN i-PROJECT」に取り組んでいます

九電グループ全体のイノベーションを推進するため、グループ横断のアイデア創出や、有望案件の事業化・サービス化に向けた取り組みを行っています。

【プロジェクトから生まれた案件の一部】

〔事業化案件〕



ベトナムに設立した現地法人
「Kyuden Innovatech Vietnam」
による水力発電運用改善事業



九州電力の新しい見守りサービス「キューオッタバイ」
位置情報を活用した
見守りサービス
「Qottaby(キューオッタバイ)」



ドローンを活用した動画空撮、
映像編集、三次元画像などの
作成サービス
「九電ドローンサービス」



「教えたい人」と「習いたい人」を
つなげる習い事マッチング
プラットフォーム
「おけいこタウン」



優秀な外国人材の就業と、
定住による地域活性化を目指す
「KYUDEN GLOBAL事業」

他企業やベンチャーキャピタルと連携した 「オープンイノベーション」にも積極的に取り組んでいます

九電グループが有しているリソースだけではなく、ベンチャーキャピタルとの戦略的パートナーシップの構築やスタートアップ企業との提携など社外との連携を通じて、技術やノウハウ、アイデアを共有し、新しいビジネスやサービスを共創しています。

【次世代植物工場の検討】

九州電力(株)は、(株)九電工・東京センチュリー(株)・(株)スプレッドの3社と豊前発電所遊休地を活用した次世代植物工場^(※1)の事業化検討を行っています。

この工場は、レタスの生産能力日産5トンと世界最大級のもので、野菜の安定供給に貢献する社会的意義が非常に大きな事業です。

VPP^(※2)リソースとしての活用や再エネ電源との組み合わせによる低環境負荷のレタス提供など、新たな付加価値創出の可能性についても検討していきます。

- (※1) (株)スプレッドの次世代型農業生産システム(Techno Farm™)を導入し、建物内でLEDと養液を用いてレタスなどの作物を栽培する工場
- (※2) バーチャルパワープラント：仮想発電所。電力の需給バランスを保つため、電力を使用する側の機器を制御し、発電所のように活用すること



事業化検討開始の記者発表

女性消防設備士による消防設備点検サービス「TEQNICO」を開始しました

マンション・アパートなどの集合住宅は、消防法で年2回の消防設備点検が義務付けられています。「プライベートな自宅への入室がある定期点検が負担」という女性の方々の声にお応えするため、集合住宅などにおいて、消防設備点検を九州電力(株)が育成した女性だけのチームで行うサービスの提供を2019年10月から福岡市内で開始しました。

TEQNICO



点検作業のイメージ

従業員のチャレンジを促し、組織基盤を強化します。

CSR
重要課題

人材育成
働きやすい職場づくり
コーポレート・ガバナンスの実効性確保



挑戦し、成長し続けるための人材・組織づくりに取り組めます

働きやすい職場づくりに取り組んでいます

【働き方改革の推進】

九電グループでは、従業員が活力を持って仕事に取り組める環境づくりや、業務効率化による労働生産性の向上、チャレンジできる組織風土への変革を目的として、働き方改革に取り組んでいます。

（テレワークの推進・サテライトオフィスの設置）

九州電力(株)及び九州電力送配電(株)では、社員のワーク・ライフ・バランスの充実などを目的に、時間や場所を有効に活用した柔軟な働き方が可能となる「テレワーク制度」を2013年4月に導入しており、順次適用職場を拡大しています。

また、通勤時間の短縮や集中した作業が可能となる「サテライトオフィス」も複数箇所に設置しています。



自宅でのテレワークの様子

【健康経営の推進】

あらゆる事業運営の基盤である従業員の健康保持・増進を目的に健康経営を推進しています。

2020年2月には、従業員の健康づくりのサポートなどに取り組んでいることなどが評価され、九州電力(株)は3年連続で「健康経営優良法人(ホワイト500)」の認定を受けました。



※健康経営優良法人認定制度
経済産業省と日本健康会議が共同で、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度

ダイバーシティを推進しています

【性別・国籍を問わない多様な人材の活躍推進】

九州電力(株)及び九州電力送配電(株)では、育児などのライフイベント時期においても、男女ともに安心して活躍できる環境を充実させるため、夫婦での参加を推奨した両立応援セミナーや育児期の勤務地配慮などを行っています。

また、多様なバックボーンを持つ人材の活躍による組織の活性化を促すため、他企業からの中途採用に加え、外国人採用も行っており、2020年3月末現在、6カ国の人材が活躍しています。



仕事と育児の両立応援セミナー

【障がい者の活躍推進】

障がいのある方も地域・社会の中で活躍することができる社会づくりにグループ一体となって貢献するため、障がい者雇用を促進しており、特例子会社の(株)Q-CAPでも、複数名がそれぞれの個性や能力を活かして活躍しています。

同社では、聴覚に障がいのある方向けに、九州をはじめ各地域で40局を超える放送局の番組字幕の制作などを行うとともに、2019年には、資料の印刷やデータ入力などを行うビジネスサポート事業も立ち上げました。



ビジネスサポート事業

経営トップ自ら率先垂範する姿勢を示し、グループ全体で「コンプライアンス経営」を徹底します

九州電力(株)はこれまで、取締役会のもとに設置したコンプライアンス委員会を中心として活動計画を策定・実践するなど、コンプライアンス経営を推進してきました。2020年6月には、「いかなる場合でもコンプライアンスを最優先に事業活動を行う」旨を社長が宣誓し、社会の皆さまにお約束しています。(ホームページで公開)

コンプライアンス経営の徹底に向けて（抜粋）

私は、コンプライアンスとは「人に迷惑をかけない」「社会に損失を与えない」「不正な行動をとらない」ということが基本精神であると考えております。九電グループトップの責務として、この基本精神を自ら実践し、グループ全体にも浸透させ、いかなる場合でも、コンプライアンスを最優先に事業活動を行ってまいります。

コンプライアンスに反する行為は社会からの信頼を瞬時に失うものであるということを肝に銘じ、九電グループにおけるコンプライアンス経営の徹底に向けた不断の取組みを強く推進していくことを皆さまにお約束いたします。

2020年6月

九州電力株式会社
代表取締役 社長執行役員

池辺和弘